



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月26日

上場会社名 新光商事株式会社
(URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>)

(コード番号: 8141 東証第一部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 北井 暁夫
責任者役職・氏名 取締役 蜂谷 訓平

T E L : (03) 5721 - 2111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 税金費用の計算

税金費用は簡便法により計算し、未払法人税等に計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	112,121	33.8	3,468	97.2	3,325	75.6	1,954	64.0
17年3月期第3四半期	83,803	9.3	1,759	74.9	1,893	101.4	1,191	103.8
(参考) 17年3月期	113,968		2,491		2,595		1,593	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	85 05	-
17年3月期第3四半期	51 84	-
(参考) 17年3月期	68 46	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

第3四半期迄における世界経済は、原油の更なる高騰など不安要因はあるものの、国内においては企業収益の改善により個人消費も順調に回復してきております。一方エレクトロニクス業界においては、海外ではMP3プレーヤー、携帯電話及びノートパソコン等好調に推移いたしました。国内ではデジタル家電を中心にコスト競争の激化に歯止めがかからず企業業績を圧迫する一因となっております。

このような環境の中、当社グループの業績は、国内においては集積回路が、中国市場向け携帯端末の生産調整及びパソコン周辺機器の価格競争激化による影響を受けたものの、娯楽機器向けアセンブリ製品は特に前半において予想を上回る状況で推移し、更に海外向け携帯電話用液晶パネル及び自動車電装向け集積回路は好調に推移いたしました。また、海外においては、日系顧客の中国への生産シフトの加速及び娯楽機器・電源等のEMS事業が拡大しアジア地域を中心に好調に推移いたしました。

これらの結果、当社グループの連結業績は、売上高1,121億21百万円（前年同期比33.8%増）、営業利益34億68百万円（前年同期比97.2%増）、経常利益33億25百万円（前年同期比75.6%増）、四半期純利益19億54百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	68,106	36,816	54.1	1,602 96
17年3月期第3四半期	55,891	34,193	61.2	1,487 62
(参考)17年3月期	58,107	34,686	59.7	1,508 41

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金 同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	155	190	1,106	5,280
17年3月期第3四半期	1,640	84	1,389	5,490
(参考)17年3月期	2,982	30	1,752	6,501

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、681億6百万円となり、前第3四半期末比122億15百万円の増加となりました。主な要因は、売上高の増加に伴い、受取手形及び掛金が114億74百万円、たな卸資産が5億93百万円増加したこと等によるものであります。

また、株主資本につきましては、368億16百万円となり、前第3四半期末比26億22百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は52億80百万円となり、前第3四半期連結会計期間と比較して2億10百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1億55百万円の支出となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益30億88百万円及び仕入債務の増加85億33百万円等であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加86億14百万円、たな卸資産の増加14億35百万円及び法人税等の支払12億49百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は1億90百万円の支出となりました。主なマイナス要因は、投資有価証券取得による支出1億34百万円、有形固定資産の取得による支出31百万円及び無形固定資産の取得による支出23百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は11億6百万円の支出となりました。主なプラス要因は、短期借入による収入26億円であり、主なマイナス要因は、短期借入金の返済による支出30億99百万円、長期借入金の返済による支出2億円及び配当金の支払3億90百万円等であります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書、販売の状況

以上

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	145,000	4,100	2,400	104 49

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しておりますが、実際の業績は、業況の変化などにより、大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

[業績予想に関する定性的情報等]

当社グループを取り巻く環境は、パソコン周辺機器向けおよび携帯端末向け集積回路については、引き続き生産調整や価格競争激化の影響を受けるものと予測しておりますが、一方で娯楽機器関連ならびに自動車電装・産業機器関連は堅調に推移するものと予想しております。

平成18年3月期の業績予想につきましては、現在のところ、前回発表(平成17年11月15日)の通期の業績予想に変更はございません。

添付資料

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	5,280	5,490			6,501
2.受取手形及び売掛金	39,671	28,197			30,988
3.たな卸資産	10,496	9,902			9,061
4.未収入金	5,070	4,971			4,357
5.その他	473	414			312
貸倒引当金	101	91			93
流動資産合計	60,890	48,884	12,005	24.6	51,127
固定資産					
1.有形固定資産	2,917	3,129	212	6.8	3,094
2.無形固定資産	151	284	133	46.8	202
3.投資その他の資産					
(1)投資有価証券	3,018	2,202			2,263
(2)その他	1,265	1,559			1,533
貸倒引当金	136	170			114
投資その他の資産合計	4,147	3,592	555	15.4	3,682
固定資産合計	7,216	7,006	209	3.0	6,979
資産合計	68,106	55,891	12,215	21.9	58,107
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び買掛金	26,301	16,101			17,768
2.短期借入金	2,300	3,120			2,884
3.その他	1,305	898			1,293
流動負債合計	29,907	20,119	9,787	48.6	21,945
固定負債					
1.長期借入金	200	400			300
2.再評価に係る繰延税金負債	184	208			208
3.退職給付引当金	744	706			706
4.役員退職慰労引当金	117	123			127
5.その他	136	140			132
固定負債合計	1,383	1,578	194	12.3	1,475
負債合計	31,290	21,698	9,592	44.2	23,421
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	-	-	-	-
(資本の部)					
資本金	7,336	7,336	-	-	7,336
資本剰余金	7,434	7,434	-	-	7,434
利益剰余金	20,902	18,921	1,980	10.5	19,323
土地再評価差額金	268	303	34	11.4	303
その他有価証券評価差額金	917	518	399	77.0	542
為替換算調整勘定	11	285	297	104.0	216
自己株式	54	35	19	55.0	38
資本合計	36,816	34,193	2,622	7.7	34,686
負債、少数株主持分 及び資本合計	68,106	55,891	12,215	21.9	58,107

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	112,121	83,803	28,318	33.8	113,968
売上原価	102,741	76,226	26,515	34.8	103,848
売上総利益	9,379	7,576	1,803	23.8	10,119
販売費及び一般管理費	5,911	5,817	93	1.6	7,627
営業利益	3,468	1,759	1,709	97.2	2,491
営業外収益	77	173	95	55.3	182
1. 受取利息	24	9			13
2. 受取配当金	24	17			18
3. 商圏譲渡益	-	100			108
4. 雑収入	28	46			41
営業外費用	221	39	181	463.1	78
1. 支払利息	21	24			33
2. 為替差損	194	-			14
3. 雑支出	5	14			31
経常利益	3,325	1,893	1,432	75.6	2,595
特別利益	4	97	93	95.7	110
1. 貸倒引当金戻入額	4	97			100
2. その他	-	-			10
特別損失	240	65	175	270.3	76
1. 固定資産売却・除却損	70	3			12
2. 減損損失	58	-			-
3. 退職給付制度改定損失	55	-			-
4. 投資有価証券評価損	11	56			56
5. その他	45	4			7
税金等調整前四半期 (当期)純利益	3,088	1,926	1,162	60.4	2,629
税金費用	1,134	734	400	54.5	1,036
四半期(当期)純利益	1,954	1,191	762	64.0	1,593

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,088	1,926	2,629
減価償却費	167	381	508
減損損失	58	-	-
退職給付引当金の増加額	37	35	36
役員退職慰労引当金の減少額	10	29	25
貸倒引当金の増減額	30	10	64
受取利息及び受取配当金	48	26	31
支払利息	21	24	33
有形固定資産売却益	-	-	0
有形固定資産売却・除却損	70	3	12
投資有価証券評価損	11	56	56
売上債権の増減額	8,614	8,195	5,497
未収入金の増減額	775	63	569
たな卸資産の増加額	1,435	1,894	1,053
仕入債務の増減額	8,533	5,392	3,725
未払消費税等の増減額	55	46	9
その他の資産及び負債の増減額	38	169	118
取締役賞与の支払額	20	15	15
その他非資金取引	143	200	2
小計	1,063	2,900	4,297
利息及び配当金の受取額	49	32	34
利息の支払額	19	19	31
法人税等の支払額	1,249	1,273	1,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	155	1,640	2,982
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の取得による支出	134	6	26
投資有価証券の売却による収入	-	0	0
有形固定資産の取得による支出	31	84	94
有形固定資産の売却による収入	0	-	0
無形固定資産の取得による支出	23	47	49
貸付による支出	0	-	-
貸付金の回収による収入	1	3	3
その他投資資産の取得による支出	32	16	41
その他投資資産の売却・解約による収入	29	236	237
投資活動によるキャッシュ・フロー	190	84	30
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	2,600	5,521	6,355
短期借入金の返済による支出	3,099	7,058	8,051
長期借入れによる収入	-	800	600
長期借入金の返済による支出	200	300	300
自己株式の取得による支出	16	8	11
自己株式の売却による収入	-	0	0
配当金の支払額	390	345	345
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,106	1,389	1,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	231	1	88
現金及び現金同等物の増減額	1,221	337	1,349
現金及び現金同等物の期首残高	6,501	5,152	5,152
現金及び現金同等物の期末残高	5,280	5,490	6,501

4. 販売の状況

販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	対前年同四半期比(%)
電子部品事業(百万円)	106,576	135.5
電子機器事業(百万円)	5,545	107.5
合計(百万円)	112,121	133.8

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。